

書店員が選んだ 今月のおすすめ本

『恋するあずさ号 (実業之日本社文庫)』

坂井 希久子 / 著 実業之日本社

特急電車の「あずさ」と同じ名前の「畠山梓」の、理由の無い突然の旅から始まる物語。東京の専門学校を卒業後介護の職についた梓は、偶然にも学校の実習でお世話した「星子さん」を再び担当することに。ホームヘルパーの仕事は楽しいものの空回りしがちで、月日がたつにつれて自分不信になってしまう。そんな時、ふと思い立って特急「あずさ」に乗り込み、降りた駅が「上諏訪駅」だった。諏訪湖畔で陶芸家の「桂」と出会い「高遠町」へ。梓は、高遠と東京を行き来しながら新しい生き方を見つけていく。

内容とは特に関係ありませんが最初に乗ったのが「スーパーあずさ」なのに表紙のデザインは「旧国鉄色」。これって・・・？ (神田堂 大塚さん)



『リゆうがあります (わたしのえほん)』

ヨシタケ シンスケ / 作・絵 PHP 研究所

ハナをほじってもいいんじゃない? というキャッチコピーが目を引くこの本。全国の子あるいは女の子がお母さんから絶えず文句を言われているであろう“クセ”にはこうした理由があるのだと堂々と主張する主人公の男の子が面白く、その理由を問答無用で切っ捨てず一応聞いてあげるとお母さんもまたいい味を出していて、楽しい気分で読める本です。

(興文堂アイシティ店 福田さん)



『ねずさんの日本の心で読み解く百人一首 千年の時を超えて明かされる真実』

小名木 善行 / 著 彩雲出版

小さい頃に覚えただけの百人一首。本書に書かれている時代背景や歌人の立場に立った解説を読むことで、その時代の人々の様子、思いが浮かんできます。和歌という言葉を通して伝えられてきた日本人の心、美を強く感じさせてくれる一冊です。(中島書店 高砂さん)

No
Image

『妖怪 (大人の探検)』

小名木 善行 / 著 小松 和彦 / 監修 実業之日本社

現代ではなかなか妖怪を身近に感じることは少ないかもしれませんが、昔から妖怪は人間の心のよりどころ。神と妖怪の違いって? 山姥と口裂け女は同じ? 天狗の正体って? 謎が解明されていくと日本の文化もわかります。

最近では妖怪がブームになっていますが、妖怪本は夏の必読書ですよ。

(中島書店 内藤さん)



※画像のない本は、図書館に所蔵していない本です。

📖 この面に掲載されている本の紹介は、市内に本店のある4書店にご協力いただいています。📖

神田堂 (52-1283)

注文品の迅速な手配を心がけており、地元著者の自費出版本など地域とともに活動しております。

興文堂 (97-3949)

小さいお子さま向けのおはなし会。
8月23日(日)・9月13日(日)
いずれも午後2時から、平田店にて開催中♪

中島書店 (54-3968)

中島書店スタッフのお勧め「ワタシ的にはイチオシフェア」は、中身を一新して展開中です。

丸文塩尻書店 (52-5515)

えんば一くから3階渡り廊下を使って徒歩約1分! 図書館で気に入った本、店頭にはない本は最短3日でお取り寄せいたします。

今月のおすすめ本

『小説・マンガで見つける!すてきな仕事』全5巻

学研教育出版 / 編 学研教育出版

「ささえる」「まもる」「もてなす」「うみだす」「つたえる」という内容に分かれた全5巻です。それぞれの内容に関する仕事を小説やマンガの中から取り上げ、仕事の魅力や実際にその職業に就くにはどうしたらいいのかをイラストを使って分かりやすく紹介しています。

好きな小説やマンガから、将来の仕事のヒントが見つかるかもしれません。1巻に一人ずつ、その道のプロの方の特別インタビューも載っています。(青少年担当 上野)



『山本作兵衛と炭鉱(ヤマ)の記録 (コロナ・ブックス)』

コロナ・ブックス編集部 / 編 作兵衛事務所 / 協力 平凡社

山本作兵衛は炭坑夫として働いた絵師で、自らの体験をもとに描き残した炭坑の記録画は、2011年にユネスコの世界記憶遺産に登録されました。本書には世界遺産未登録の山本作兵衛作品のほか、彼以外の炭坑画家による作品や写真などが収録されており、在りし日の炭坑の姿を詳細に知ることができます。(技術分野担当 大澤)



『グルメサイトで★★★ホシ3つの店は、本当に美味しいのか?』

嶋 浩一郎, 森永 真弓 / 著 マガジンハウス

デジタルサービスを便利に利用しつつも「このレビューは信用できる?」「携帯番号を聞かれているけど入力が必要?」「フリーのWi-Fiは拾っていいの?」など、なんとなく不安や疑問を抱えている人も多いのでは。そんなもやもやを分かりやすく解説し、「そうだったのか!」と納得できる一冊です。(コンピュータ分野担当 笠原)



『名刀伝 傑作日本刀小説アンソロジー (ハルキ文庫)』

浅田 次郎 / ほか著 細谷 正充 / 編 角川春樹事務所

最近、若い女性の間で流行っている刀剣。名刀と呼ばれる刀たちの来歴や人々との不思議な縁を著名な小説家たちが描いた傑作短編集です。小狐丸や和泉守兼定、堀川国広など、ほかにも様々な話が詰まっています。日本刀の奥深い世界をご堪能ください。(文庫担当 北林)



『星の王子さまの美しい物語 アントワーヌ・ド・サン＝テグジュペリ 刊行70周年記念愛蔵版』

アルバン・スリジエ デルフィーヌ・ラクロワ / 編 飛鳥新社

サン＝テグジュペリの『星の王子さま』が出版される前のエピソードなどを複数の作家、評論家が語っています。不思議な世界をより深く知ることができる一冊です。

私たちが忘れてしまっている子どもの心をもう一度味わってみてはいかがでしょうか?

(読書案内担当 北村)



『万葉集 はじめに和歌(うた)があった (NHK「100分de名著」ブックス)』

佐佐木 幸綱 / 著 NHK出版

「全国短歌フォーラム in 塩尻」の選者でおなじみの佐佐木幸綱氏による分かりやすい万葉集の入門書です。歌が詠まれた場や時代背景、今までの研究者の歌の解釈も踏まえて、万葉集第一期から第四期までの歌の特徴を丁寧に解説しています。額田王、柿本人麻呂、山部赤人、大伴家持などが詠んだ有名な歌の時代背景が分かると、歌がよく理解できて万葉集の魅力がより強く感じられます。(文学担当 田中)

